

生徒指導部から生徒・保護者の皆さんへ

若松原中学校生徒指導部では、この生徒指導通信を通して、学校での生徒の様子や保護者の皆様、地域の皆様へのお願いを含め、様々な情報を発信しています。これからもよろしくお願いいたします。

タイトルにある【日々感謝】は、若松原中正門にある、「感謝の心」という石碑の言葉がもとになっています。日々の生活の中で、少し視野を広げ、感謝の気持ちをもって生活することで、お互いが過ごしやすい雰囲気になります。生徒・保護者・職員が一体となって、魅力のあるよりよい若松原中学校にしましょう。

R2年度 若松原中生徒指導の重点目標

ともに成長できる集団づくりと自己指導能力の育成

ともに成長できる集団 とは

⇒ とともに課題に立ち向かい、互いに認め、励まし、称え合うことで、自分も周りも一緒に成長できる集団

自己指導能力 とは

⇒ その場、その時で、どのような行動が適切か、自分で考え、決めて、実行する能力のこと

目標を達成するために以下の点に力を入れていきます

① 基本的な生活習慣と規範意識に関する指導をします！

元気なあいさつ 適切な言葉遣い 身だしなみ 5分前行動 交通ルールの遵守 など

② 「マナーアップ」を合い言葉に、相手を思いやる心を育て、互いに尊重した人間環境づくりに努めます！

立腰の実施 学校園あいさつ運動 生徒主体の活動の充実 「いじめゼロ運動」 など

③ 魅力ある学校づくりに取り組みます！

魅力ある若中アンケートの実施 地域と関わる活動の充実 HPによる最新情報の発信 など

昨年度のアナウンス結果から見る本校の特徴

※魅力ある若中アンケートならびに生徒会主体で行ったSWOT分析(生徒の意見)から

☆ よいところ ☆

- 元気で明るく、ポジティブに生活している
- 学校行事や委員会活動、生徒会活動に積極的に取り組んでいる
- 若松原中学校をよくしていこうと考えて、行動できる人が増えている
- 勉強や部活、各行事に目標をもって取り組んでいる人が多い

★ 課題 ★

- 時や場所、時間を考えずに行動してしまうことがある
- マナーをもっと向上させた方がよい(教室・廊下の過ごし方、公共の施設の過ごし方など)
- 若松原中学校のイメージをもっとよくしたい(アピールしたい)

保護者の皆様へ ～各家庭でご指導をお願いしたい2つのこと～

いじめは 「しない させない 許さない」

いじめは、相手を攻撃し、深刻な苦痛を与え、追い込むような許せない行為です。いじめる側(加害者)にもいじめられる側(被害者)のどちらにしてみてもいけません。お子様たちを見て、「おかしいな」と感じたら、声をかけ、話を聞いて下さい。そして、担任や部活動顧問、学年主任、生徒指導係にご相談下さい。

本校では、「いじめは絶対に許されない」という強い認識のもと、すべての生徒が安心して学校生活を送ることができるよう指導をしていきます。各家庭でも、生徒指導通信など学校から配付される資料などを利用し、「いじめ」についての話題に触れて下さい。

自分の身は自分で守る ～交通ルールと不審者対策～

若松原中学校周辺は、環状線や4号線など交通量がとても多い道路と、住宅地など道幅が狭い道路に囲まれています。特に注意して欲しいことは、交通ルールを守った安全な登下校と不審者対策です。平日の登下校時や、休日に出かける際には以下の点に注意してください。

【安全な登下校と不審者対策】

- ・ 歩道を歩く際は横に広がりず、白線の内側を通り、小学生や高齢者の方が来たら、道をゆずる。
- ・ 自転車に乗る場合は左側通行をし、「ながら運転」「並進走行」をしない。
- ・ 帰宅時間を守り、夜遅くまでの外出、公園や道ばたにたまって話をしない。
- ・ できるだけ複数人数で帰宅、人通りの少ないところを避ける。

学校再開から3週間 生徒指導から見た各学年の日常

1年生は、この3週間で「あいさつ」の声が大きくなりました。6月始めは照れもあったせいか、大きな声であいさつができなかった生徒も、最近では「おはようございます！」と大きな声であいさつをしています。毎朝同じ時間に登校してくるある女の子は日に日にあいさつの声が大きくなってきていて、成長を感じます。またあるクラスでは、授業前に顔を出したときに「こんにちは！」と積極的にあいさつしていました(校長先生も同じ話題をしていました)。これからは「あいさつは誰とでも」を合言葉に、頑張っていきましょう！

2年生は、「礼儀正しさ」と「責任感」をもって行動する生徒がよく見られました。すれ違ったときにあいさつをするのはもちろんですが、2年生はそこに小さな「会釈」が加わります。小さなその行動には、大きな気持ちがこもっているな、といつも感じています。「責任感」については、クラスボックスやダイアリー、家庭学習ノート、健康観察簿を欠かさず取りに来る生徒、教科係として授業前後に必ずくる生徒など、一生懸命に活動する様子が見られます。2年生は、先輩のよいところを見て学び、後輩に手本を見せなければなりません。そういった意味でさらに「視野の広い生徒」になれることを期待しています。

3年生は、一言で言えば「一生懸命」です。「一生懸命」になる内容は人それぞれ違うのですが、何かしら「自分の中で戦って、それに負けないように頑張ろう」という姿勢が見えます。コロナ禍で学校行事も雰囲気も大きく変わってしまい、多くの不安やストレスを抱える中でも、「前向きに行動しよう」とする姿はさすが3年生です。「勉強」「進路選択」「部活」「新しいクラス」「将来の自分」など、悩むことはたくさんありますが、そんなときにはこれまで一緒に過ごしてきた周りにいる仲間や先生を頼って、よりよい学校生活を送りましょう。3年生は若松原中学校の代表です！よろしくお願いします。